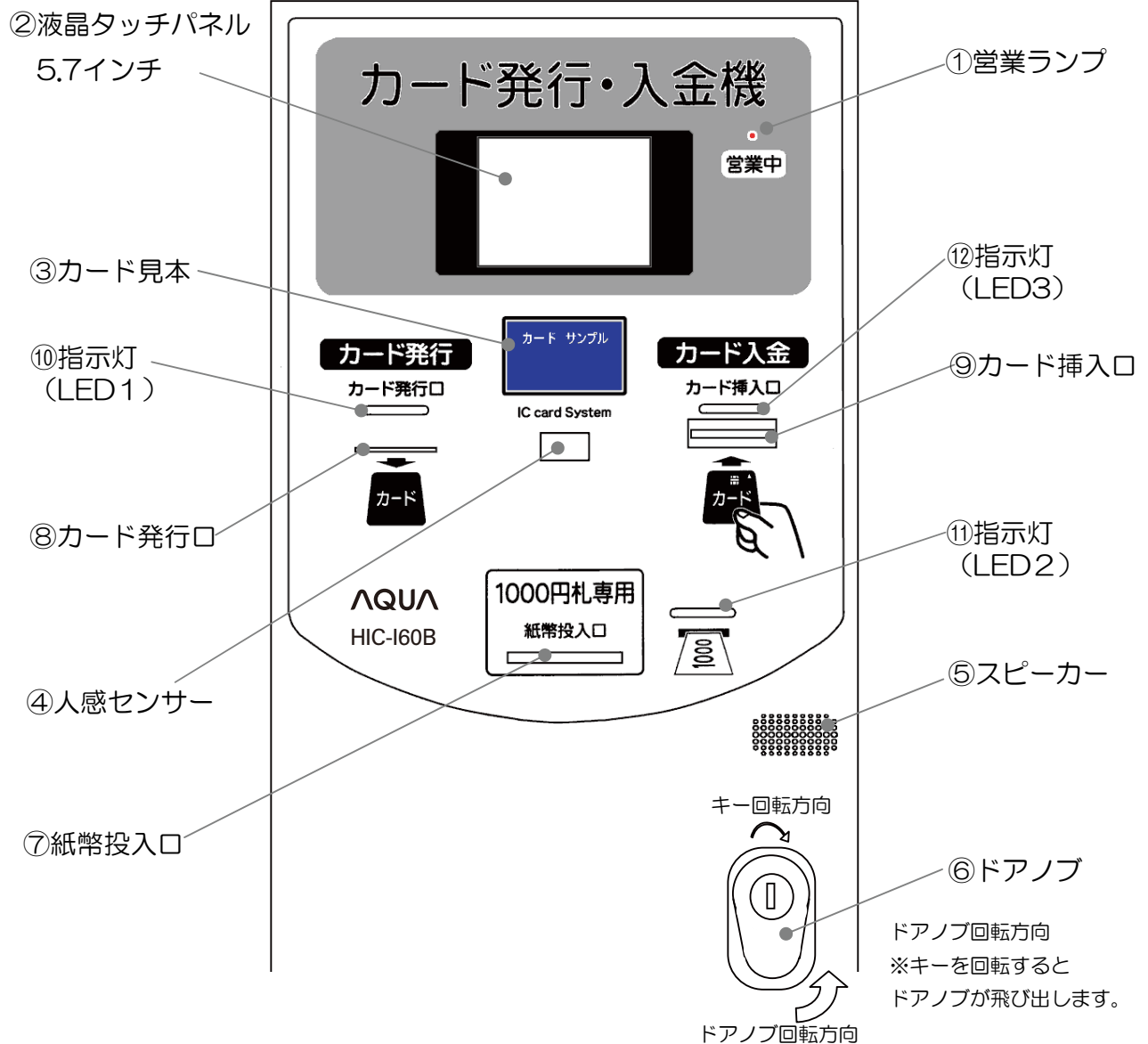
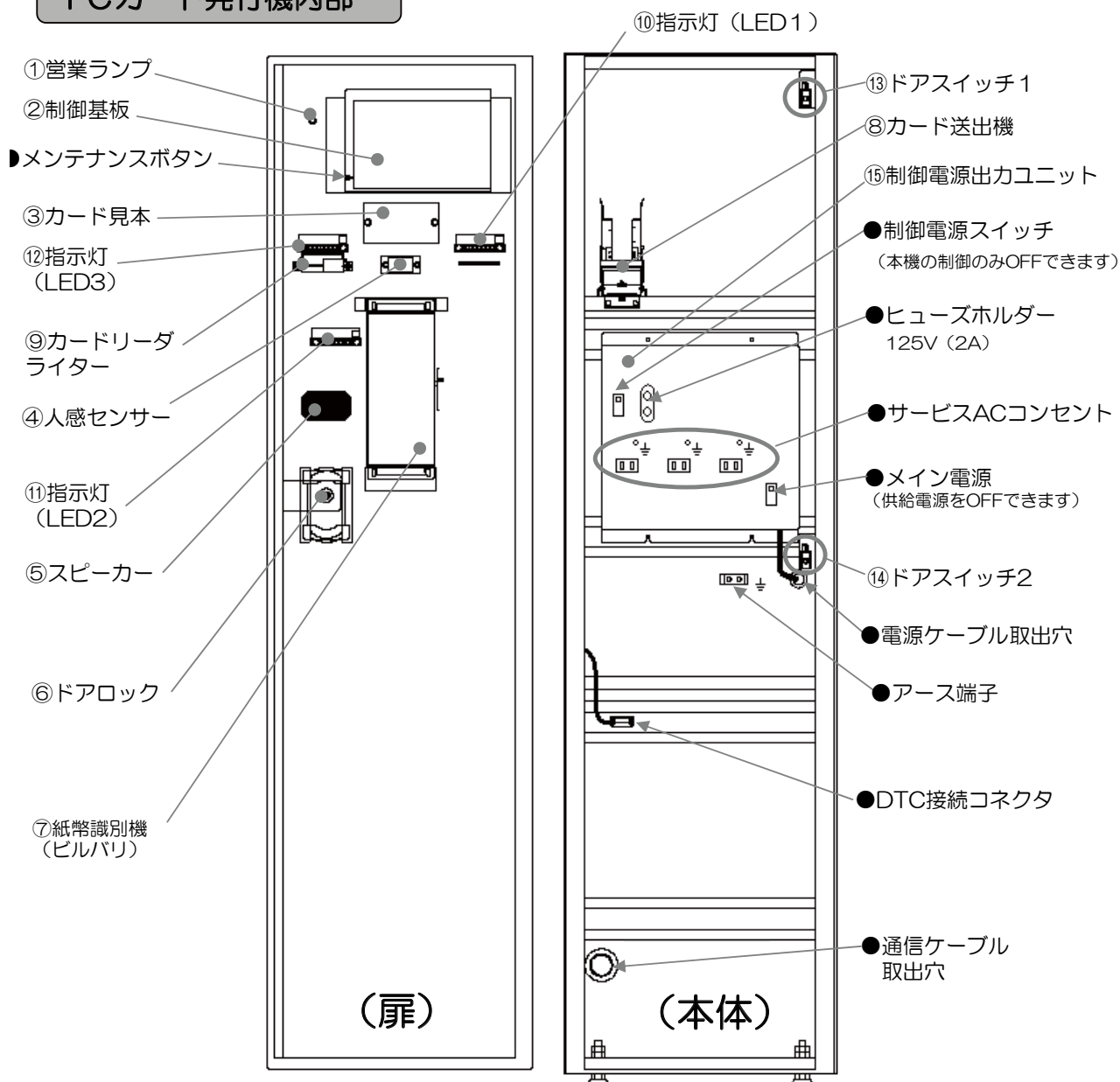
仕様（1）

区 分	仕 様 項 目	スペック
ICカード発行部仕様（カード送出機仕様）	ICカード収納枚数 ICカード販売口座数 カード送出方法 カード抜取り検知 カードエンプティ検知 ICカード販売金額 ICカード発行手順	:約100枚 :1口座 :底板スライド方式 :有（送り出したカードを引き抜かれたことを検知） :有（カードの有無を検知） :1000円／2000円 :画面タッチ（操作方法については9ページを参照ください。）
ICカード入金取扱仕様	カード搬送方式 入金額 適合カード以外の処置 ICカード入金手順	:手動挿入／自動排出 :1000円～9000円 （1000円札専用・残高≧9000円の場合は入金不可） :①ICカード以外、②フォーマット不一致、③特約店コード不一致、 ④ロケーションコード不一致、などの場合カードを即返却します。 :画面タッチ（操作方法については11ページを参照ください。）
使用貨幣	入金受付紙幣 紙幣収納枚数 紙幣収納方式	:千円紙幣 :約200枚（新札240枚） :整列収納方式
接客操作部仕様	液晶タッチ画面 画面サイズ 解像度 配色 タッチパネル	 :5.7インチ :320×240ドット（69dpi） :256色 :アナログ皮膜式タッチパネル
	ブザー	:カード取り忘れ時の警告、画面タッチ音、その他警告音
	スピーカー	:操作案内、警告音など
	人感センサー	:人を検知して操作画面・音声案内を起動する。
	LED表示器	:（LED1）・・・カード発行後にカード受取と指示・強調します。 （LED2）・・・千円札入金を指示・強調します。 （LED3）・・・カードの挿入を指示・強調します。
設定操作部仕様	液晶タッチ画面 （接客操作部と兼用）	:制御基板のメンテナンスボタンを押すとメンテナンス画面が表示されます。 セキュリテーカードの登録がされていれば扉を閉じたままでメンテナンス画面を表示することができます。
機能別仕様	ICカード新規発行設定	:新規発行カードの販売価格設定ができます。（1000円/2000円） 新規発行カード内容を設定表示できます。
	ポイントの付与設定 通常ポイント キャンペーンポイント 特別累計ポイント くじびきポイント	 :1000円入金ごとに付与するポイントの設定ができます。 :期間限定で一度の入金額に対して付与するポイントの設定ができます。 期間は、××年××月××日～○○年○○月○○日、 指定日（4日間）、指定曜日（4日間）の設定ができます。 入金ポイントは1000円～9000円入金分まで設定が必要です。 :今までの入金累計に応じてポイントを付与することができます。 累計入金額1000円～999000円までの範囲で設定できます。 :ICカードに入金したお客様の中から抽選で付与するポイントの設定ができます。
	時刻設定 コード設定 無操作設定	:西暦・月・日・時・分・秒 :特約店コード・ロケーションコード（このコードが設定していないとカードを受付ません） :無操作監視時間（]0～999秒）の設定値を入力
	データの閲覧 取引情報の表示 エラー履歴の表示 売上の集計	 :過去3000件の取引情報を閲覧できます。古いデータから削除されます。 :過去30件のエラー情報を閲覧できます。古いデータから削除されます。 :過去3000件のデータで売上やポイントの集計ができます。
	通信機能	:通信インターフェイスRS232C（データコントローラとの接続） ITランドリーシステムを導入した場合、接続が必要となります。 ※データコントローラは、オプションです。
動作環境	設置 動作保障温湿度 スペース	:屋内専用、水平傾斜角1°以下、底付けアンカー設置 :温度 0～40℃、湿度 20～80%（結露しないこと） :保守スペースが確保できること
外観	寸法 質量 扉	:400（W）×300（D）×1505（H） :約67kg :左ヒンジ、前面保守
電源	電源 定格消費電力 消費電流	:単相100V、50または60Hz、漏電遮断器内蔵 :40W ※本機のサービスACコンセントは、15A以下でご使用ください。（本機制御電源を含む） :待機時 200mA 、動作時 400mA
予備・添付品		保証書、取扱説明書、鍵一式、設置用カタガミ1枚

ＩＣカード発行機操作パネル各部説明

①営業ランプ・・・・・ランプが点灯していれば使用できます。
②液晶タッチパネル・・操作案内・操作ボタンを表示します。画面のボタンをタッチすることで操作できます。
③カード見本・・・・・カード見本を展示できます。
④人感センサー・・・・人を感知して装置が自動起動します。
⑤スピーカー・・・・・音声案内をながします。
⑥ドアノブ・・・・・・扉をロックします。
⑦紙幣投入口・・・・・千円札を入金します。
⑧カード発行口・・・・新規カードを発行します。
⑨カード挿入口・・・・入金するカードを挿入します。
⑩指示灯（LED1）・・・カード発行後のカード受取りを案内します。
⑪指示灯（LED2）・・・千円札の入金を案内します。
⑫指示灯（LED3）・・・カードの挿入を案内します。

ＩＣカード発行機内部

①営業ランプ・・・・・・・ランプが点灯していれば使用できます。
②制御基板・・・・・・・・本機の動作を管理・制御します。
③カード見本・・・・・・・カード見本の取り付けができます。
④人感センサー・・・・・・人を感知して装置が自動起動します。
⑤スピーカー・・・・・・・音声案内をながします。
⑥ドアロック・・・・・・・扉をロックします。
⑦紙幣識別機（ビルバリ）・紙幣の識別と収納をします。
⑧カード送出機・・・・・・新規カードの補充とカードの送り出し装置です。
⑨カードリーダライター・・カードの読み取りと書き込みをします。
⑩指示灯（LED1）・・・・・カード発行後のカード受取りを案内します。
⑪指示灯（LED2）・・・・・千円札の入金を案内します。
⑫指示灯（LED3）・・・・・カードの挿入を案内します。
⑬⑭ドアスイッチ1・2・・・前面扉の開閉を確認するスイッチです
⑮制御電源出力装置・・・・本機の電源ユニットです。

据付（1）

⚠警告

機械の据え付け・電気工事・配管工事は、絶対に自分でしないでください。感電やショートによる火災、本機や建物の破損のおそれがあります。専門の業者に工事を依頼してください。

- 工事は本据え付け工事編を良くお読みになり、本編の指示に従って行ってください。また、当該地区の条例や規定を遵守してください。

機械の据え付け

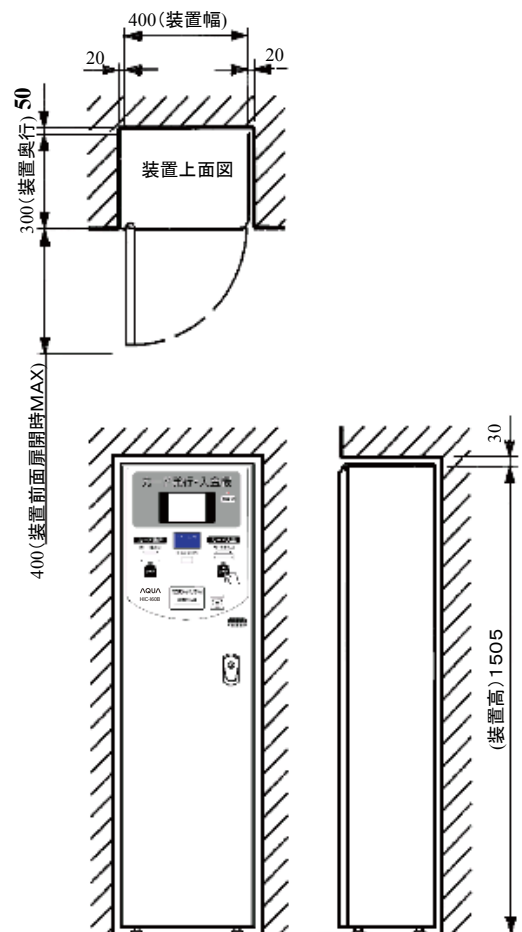
1 配置

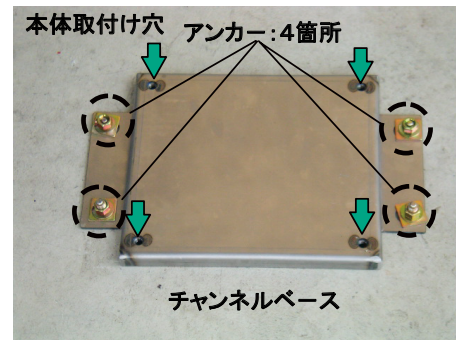
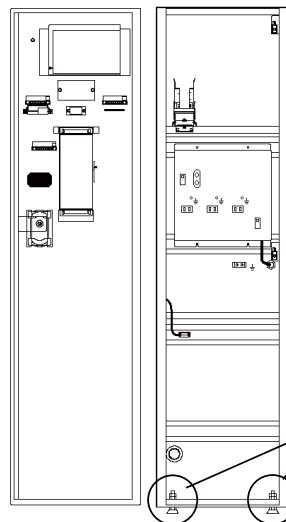
- 装置の外形寸法及び設置エリアを図示します。
  本設置エリアは、装置運用時の周囲壁面に対する最小エリアを示します。設置作業時には、レベルアジャスタの調整やアンカー固定時の作業スペースが必要となります。

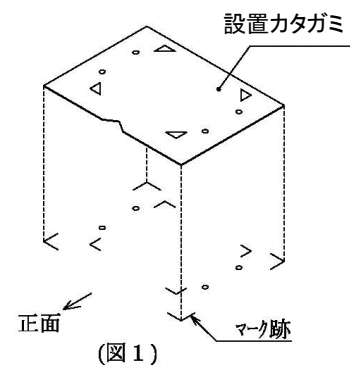
- 設置場所の決定に際しては、以下の事項にご注意ください。

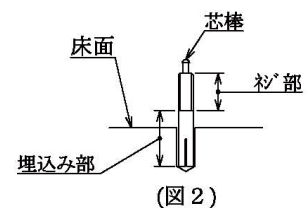
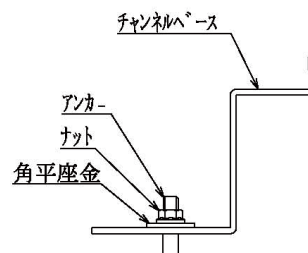
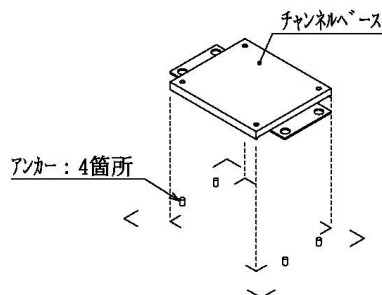
①本機は屋内専用です。
高温・多湿の場所は避け、雨水のかからないところへ設置ください。塵埃や振動が少ないところへ設置ください。
②据付面は、水平で丈夫な堅い面（装置質量約 67 kgに耐えられること）とし、軟弱な面、腐食の恐れがある面には設置しないでください。
③アンカー固定できるところへ設置ください。
④扉を開けて日常の操作や保守が出来るスペースを確保できるところへ設置ください。
⑤電源コードが通行の障害にならず、またプラグが抜けることが無いようにコンセントを配置してください。
⑥設置場所の照明は、床上面８５cm の位置で照度段階５００（300lx ～ 700lx、JIS-Z-9110）を推奨します。直射日光が直接当たらないところへ設置ください。
⑦設置場所の温湿度条件は、温度 :0 ～ +40℃、湿度 :20 ～ 80%、温度変化 :10℃ ／hour 以下、結露しないこと。
⑧消火器は、炭酸ガス消火器、ハロンガス消火器等の電気火災用消火器を常備ください。水、泡水、粉末状の消火器は避けてください。

⚠警告

風雨にさらされる場所など湿気の多い場所には据え付けないでください。機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。

据付（2）

2 据え付け工事

①付属の設置カタガミを使用し、設置位置を決める。
本体外形、チャンネルベース外形、アンカー取付穴の位置をマークする。（図1参照）
※設置カタガミは、切り欠きのある方が本体の正面になります。
カタガミ全体が本体の外形、各三角形がチャンネルベースの外形丸穴がアンカー取付穴の位置を示します。

（図１）

②マークしたアンカー取付穴位置にドリルで穴（下穴径Φ10.5、深さ30～35mm程度）を4箇所あけ、それぞれの穴にM10のアンカーを入れる。（図2参照）
※ネジ部以外が床面から出た場合は、再度ドリルで穴を深くしてください。
③アンカー本体に挿入されている芯棒を上からハンマー等で打ち込みアンカーを固定する。

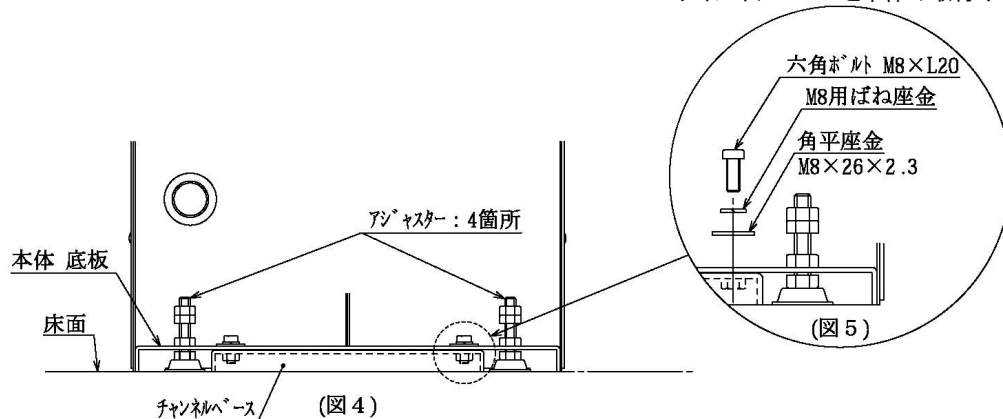
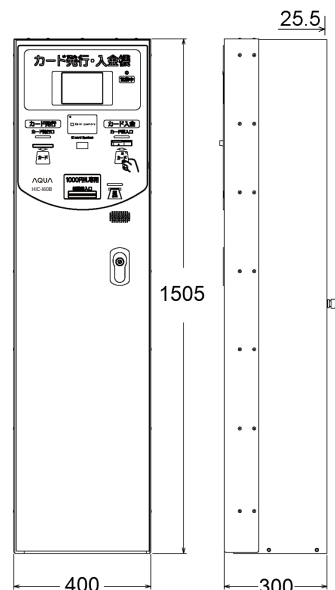
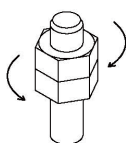
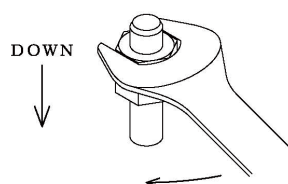
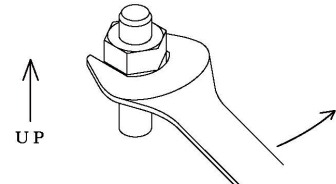
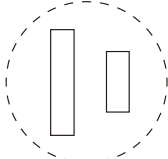
（図２）

④チャンネルベースをマークした設置位置に合わせ、アンカーに付いていたナットで固定する。（図3参照）

（図３）

据付（3）

3 据え付け調整

⑤本体を設置位置に運び、付属の六角ボルト、ばね座金、角平座金を使用し、本体内部からチャンネルベースに仮止めする。（図5参照）
⑥本体が水平になるよう本体内部のアジャスターを調整する。（図4参照）
⑦（図5）の六角ボルトを本締めする。

（図4）

（図5）

【外形寸法】

【アジャスターの調整】
a）アジャスターに取り付けている2つのナットをそれぞれ反対方向に回して締め付け仮固定する。

b）アジャスターを下げる場合：上のナットにスパナをかけ、矢印の方向に回す。

c）アジャスターを上げる場合：下のナットにスパナをかけ、矢印の方向に回す。

電気工事（1）

電気工事には電気工事士の資格が必要です。専門の工事業者に工事を依頼してください。

1 電源

- 電源には必ず本機専用として下記仕様のものを設けてください。
- 単相100V，50または60Hz、消費電力：定格40W
- 本装置はコンセントから電源を供給する様になっています。設置場所に下記のコンセントを用意してください。

コンセント規格	形　状	使　用　例
ＪＩＳ－Ｃ８３０３ １５Ａ　１２５Ｖ ２極差し込みコンセント		松下電工 ＷＦ１０２５（埋込型） ＷＦ１０１２（露出型）

- 電気配線はできるだけ金属線管、またはフレキシブルコンジットで保護してください。

⚠注意

据付け工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているかどうか確かめてください。電源仕様が異なっていると、故障や異常動作によるけがのおそれがあります。
サービスＡＣコンセントに、洗濯機、掃除機、扇風機などの機器を接続しないでください。
本機のメイン電源スイッチ（ブレーカ）がＯＦＦになり使用できなくなる恐れがあります。

2 アース

⚠注意

専門の工事業者に依頼し、必ず本機専用のＤ種接地工事（第３種接地工事）を行ってください。万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させるためです。
ただし、次のようなところにはアース線を接続しないでください。

- 水道管：配管の途中で塩化ビニル管の場合はアースされません
- ガス管：爆発や引火の危険があります。
- 電話線のアースや避雷針
  落雷のとき大きな電流が流れて危険です。

- アース工事は付属のFG線にて行ってください。
  本機単独のＤ種接地工事（第３種接地工事）が必要です。

（注）アースについては、Ｄ種接地工事（第３種接地工事）が法規で義務づけられています。